

第15回 トラック輸送における取引環境・

労働時間改善岡山県地方協議会《議事概要》

令和3年3月18日(木) 14:00~16:00

岡山県トラック総合研修会館 4階研修室

1. 開会

2. 出席者紹介（委員名簿及び出席者名簿による紹介）

3. 開会の挨拶《為石中国運輸局自動車交通部次長》

- ・委員の皆様にはお忙しい中、協議会の運営にご協力いただき感謝申し上げます。
- ・昨年4月に国土交通省が告示した「標準的な運賃」は、トラック事業者が継続的に健全な経営ができるよう、荷主と交渉するためのツールであるが、新型コロナウイルス感染症の影響もあって周知が進まず、事業者、荷主ともに浸透しているとは言い難い状況である。国が示した背景も含めて更なる浸透を図っていく必要があるため引き続きご協力をお願いしたい。
- ・「ホワイト物流推進運動」についても周知活動が十分とはいえない中、少しずつではあるが自主行動宣言の提出企業数は増えている。コロナ禍で物流の重要性がクローズアップされているところであり、より多くの企業に本運動に参加してもらえよう、引き続き周知及び参加の呼びかけを行って参りたい。
- ・本日は、ご出席の皆様より忌憚のない意見をいただき、実りある協議会となるようお願い申し上げます。

4. 議題

(1) トラック運送業の働き方改革に向けた厚生労働省の取組について

[資料1に基づき説明（岡山労働局）] ～略～

【西田岡山県トラック協会専務理事】

- ・周知用の動画コンテンツは非常によい取組だと思う。荷主企業にどれくらい浸透しているのかが気になるところであり、引き続き周知に努めていただきたい。

【藤森委員】

- ・当社では規則を遵守し労働時間を厳しく管理して事業を行っているが、以前若い運

転手が辞めたいと言ってきたことがある。理由を聞くと、もっと稼ぎたいのであまりルールが厳しくない会社に移るとのことで、よい人材だったが結局別の会社に行ってしまった。このように規則をきちんと守っている会社が損をしないような法律や取組であってほしいと強く思う。

・現在、三重県の運送会社と手を組み、三重から新見まで来たトラックに弊社のドライバーが乗って広島までを運行している。日帰りできることが運転手にとって魅力のようで、求人をかけると多くの応募がある。このような「乗り継ぎ」といった形態も活用することで、労働時間の短縮に向けた努力をしているところである。

【子安労働基準部長（岡山労働局長代理）】

・社会保険などの公的負担をせず脱法的に企業活動を行うことは許さないという姿勢で周知啓発活動や指導を行っているところである。また、実際に誤った運用をしている企業についての情報があれば提供いただき適正に対処したい。

・藤森委員から話のあった形態は、「中継輸送」の一つのパターンと思われるが、さまざまな法律等の規制の中でこのような改善のための取組を継続されることをお願いしたい。

（２）中央協議会について

[資料2に基づき説明（岡山運輸支局）] ～略～

【西田岡山県トラック協会専務理事】

・標準的な運賃の浸透のため、荷主への働きかけを強化した取組を協会と運輸支局で連携して行っていきたいと考えている。

・ホワイト物流推進運動で自主行動宣言を提出した企業の業態を見ると、運送事業者のウエイトが高い。荷主企業にも理解を深めていただく取組を進めてもらえるよう、行政から周知活動や働きかけを強めていただけるとありがたい。

・今年度から始まった「働きやすい職場認証制度」について、現在、岡山県内の運送事業者では30者が「1つ星」の申請をしたという状況である。協会としても認証取得を支援しているので、行政には認証を得ることのインセンティブとなるような仕組みを整えていただきたい。

【有利座長】

・新型コロナウイルス感染性の影響に係るアンケート調査の結果から見える運送収入の減少傾向については、貨物の数量が落ちたためか、それとも運賃そのものが低額になっているためか、どのような原因があると考えられるか。

【西田岡山県トラック協会専務理事】

・さまざまな事業者から聞いた話をまとめると、傾向としては荷動きが少ないという

物量自体の減少と、コロナ前は上昇傾向にあった運賃が横ばいもしくは少し下がっているという背景によって運送収入が減っている状況と認識している。

(3) 対象輸送分野（飲料・酒）における取り組みについて

[資料3に基づき説明（岡山運輸支局・相馬委員）] ～略～

【子安労働基準部長（岡山労働局長代理）】

・ピッキング作業に関連する工程の見直しのように、従来の方法を変えるにあたり関係先の理解を得ることが難しい場合もあると思うが、そのために工夫されたことはあるか。

・ドライバーアンケートの説明で、厳しい意見に対しても真摯に対応されていることが理解できた。ぜひこの取組を続けていただきたい。

【相馬委員】

・ピッキングの工程の時間を早めることで一番気になったのが、担当のドライバーがどのような反応を示すかということだったので、非効率な作業は廃止することで全体にかかる時間を短縮できることをきちんと説明した上で実行に移したという背景がある。

【有利座長】

・取組を行う仕組み全体を構築するにあたり、支店においてプロセス会議を開くなどされているとのことだが、それに伴う苦勞などが背景にあるのではないかと想像する。

・従業員に対する教育訓練が行き届いていないと取組を効果的なものにするのは難しいと思われるが、この点について実施されていることはあるか。

【相馬委員】

・KGL全社で取組を行っていることが大きいと考えている。グループ会社も含めてホワイト物流推進運動に参画しており、また、改善のための取組を進めていくことが社内での評価の対象になっている。

・年に2回、各支店の取組についての発表会を行っており、そこで他支店のよいところを吸収して自らの取組に反映させるということが可能になっている。

・人材育成については、業態の性格上OJTが中心となり、経験のあるメンバーが現場で丁寧に指導することを心掛けている。

【有利座長】

・先ほど相馬委員から補足いただいた説明を反映させる修正を行った上で、事務局と私で最終的に報告書を取りまとめたいと考えるがよいか。了解を得たい。(全員了解)

(4) その他

[資料4に基づき説明（岡山運輸支局）] ～略～

5. 閉会の挨拶《子安岡山労働局労働基準部長》

- ・ご出席の皆様には貴重なご意見をいただき、またキリンググループロジスティクス(株)岡山支店には協議会の取組へご協力いただき感謝申し上げます。
- ・運送業界はこの1年間、新型コロナウイルスの影響を受け続けてきたところであり、岡山県内でも企業活動の縮小により、労働局から給付している補償金が、2月末時点で総額約350億円、延べの申請数が約36,500件という状況である。
- ・主だった業種としては、昨年末と同様、製造業が最も多く、次いで卸・小売業、その次に宿泊・飲食業、そして建設業と続き、5番目に運輸業が入ってくる。
- ・現時点での県内の有効求人倍率は、これも昨年末と同様、福井県に次いで全国で2番目に高くなっているが、数値自体は1年前の同時期から大幅に下がっており厳しい状況と認識している。
- ・我々としても企業や団体の皆様に対面で周知活動や指導などを行うことが難しい状況ではあったが、企業、行政を含めてコロナ感染防止策に引き続きしっかりと取り組んでいただくとともに、小規模な集団指導や制度改正の説明会を開催していきたいと考えている。
- ・荷主も含めた関係企業への働きかけの方法を工夫し、皆様のご協力を得ながら取組を進めて参りたいので今後ともよろしくお願い申し上げます。